

『新潟市立入舟小学校 閉校式典に向けて』



平成26年度をもって、入舟小学校を閉校することが決まり、学校を核に、PTAやコミ協も協力し『閉校記念事業実行委員会』の準備を進めています。



内容は、閉校式典部・お別れ会部・記念誌部・記念碑部となっております。そこで、地域のみなさまにお願いします。記念誌を作るにあたり、入舟小学校の懐かしい写真や資料を探しています。集める時期など詳細は後日ご案内いたしますので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

また閉校式典とお別れ会の日程は11月22日(土)です。卒業生はもちろん地域のみなさま、保護者のみなさまより、たくさんのご協力、ご参加をお願いいたします。

まち探訪 『江戸の絵師、長谷川雪旦が描いた日和山』

平成27年度4月より下町の四校が統合する予定となり、校名も「日和山小学校」となりました。船乗りが出帆を決めるために、天候や風向きを観測する高台を「日和山」といいます。新潟の日和山は、現在の東堀通十三番町にある小高い山でありました。江戸の絵師

長谷川雪旦 はせがわせたん(1778~1843)は、天保2(1831)年、新潟を訪れ日和山に登っています。現在、その時の様子が絵に残されています。山頂の松、海を眺める人、沖の船、茶屋などが描かれています。江戸時代からの名所だった様ですね。



長谷川雪旦
「北国一覽写 出羽越後」より



編集委員 鈴木 喬・高橋誠一・田村幸夫・明間博隆
古寺昭治・小島良子・野内隆裕・野村慶子

編集後記

平成25年度も、入舟小学校区コミュニティ協議会にご協力をいただき、ありがとうございました。各部会の紹介をはじめ、地域密着情報・地域を学ぶ広報誌となるよう改善していきます。住民のみなさまのご意見・ご要望をいただければ幸いです。

入舟 コミ協だより

第13号
発行：2014.3.31
発行所：入舟小学校区
コミュニティ協議会
責任者：田村幸夫
TEL：025-223-3532

『石巻研修旅行』

自主防災会 明間 博隆

石巻研修旅行で改めて平成23年3月11日に起きた、東日本大震災の被害状況を語り部の佐藤さんより聞かされ、いまだに復興が進展していないのはなぜなのか疑問が残った。石巻最大の繁華街であった、広大の敷地にただ一軒の家がとり残されていました。



持ち主の生存が分からないため、復興計画が進まないとのことでした。それらの懸案を考えると持ち主の連絡先が特定できないことは、復興計の遅れが懸念されます。



『被災地対応の経験を踏まえた災害の備え』講演会

平成26年3月9日、新潟市都市政策部GISセンター長谷川普一様を講師に迎え「被災地対応の経験を踏まえた災害の備え」と題して、講演をおこなって頂きました。



「福島県相馬市への支援で浮かび上がった課題」3/11日での大津波警報下、津波到達時間が約1時間後であったにもかかわらず、人的被害が甚大であったのでは？最初は笑っていたが、徐々に津波の大きさに気が付き、その時はすでに遅く津波に飲み込まれる人も多くいました。なぜ津波警報が出ていたのに？2010年のチリ地震での津波警報が発令されましたが、津波は60センチ~80センチのため、このたびも津波はそう高くはないのではと思いきみ避難しなかった人たちが犠牲になられた。それらを踏まえて地震が起きて揺れが1分以上続いたならば津波の恐れありと、自治・町内会での津波対策避難場所への避難を速やかに行って頂きたいと強く思います。

防犯の活動

安全環境部会 高橋誠一

『入舟小学校児童手作りの防犯啓発グッズ』

昨年10月11日、全国地域安全運動として新潟中央警察署生活安全課は入船地区のお年寄りを対象に振り込め詐欺防止、空き巣防止の啓発活動として、私共安全環境部員そして入舟小学校児童とともに、お宅訪問いたしました。



啓発グッズをいくつかお配りしましたが、お年寄りの皆さまは、なによりも入舟小学校児童手作りの、のぼり旗を受け取って大変喜んでおりました。

幸いに、ここ下町では振り込め詐欺の被害は発生しておりませんが、不振な電話や訪問は後を絶たないということです。このような活動を通して地域の皆さまのコミュニケーションをはかり、地域の防犯活動として役立ててほしいと思います。



『新春110番防犯寄席』

毎年1月10日は110番の日ですが、私共は中央警察署地域課の方々と前日にある研修会を行いました。研修会と聞くとビデオを見たり講話を聞いたりとの講習会を思い浮かべますが、この日は大笑いの連続でした。と言うのは「新春110番防犯寄席」と名づけての研修会だからです。



弁士は大学時代落語研究部出身の現役警察官と警察を引退し全国落語コンテストで優勝者の方です。出だしから参加された各自治・町内会長や防犯部長の方々の気持ちを掴み、あっという間に時間が過ぎ去りました。お笑いの中にも日常生活を脅かす輩に関わらないよう指導を盛り込んだ普段とは違う研修会であり、最後に防犯防災グッズが当たる抽選会もあり楽しい企画でした。

『小型除雪機安全操作指導会』

例年冬季に私共部会が企画する小型除雪機安全操作指導会が本年は2月9日日曜日に行われました。一年経つと操作の仕方を忘れるものです。そのせいか本年も多くの方から参加いただきました。本年は降雪がなく積雪とならなく、実際除雪指導できるのかと思っていましたが、たまたま前日から降った大雪で実施することができました。指導を受けた皆さんは万一の時に各自治会でこの機械を使用して除雪活動なさり、各自治・町内会の通学路の確保や皆様が安心して通れる歩道の確保に努めていただけたと思います。寒い中ご参加ご苦労様でした。



『第11回 しもまちお互いさまランチ』

福祉文教部会 古寺 昭治

いわゆる65歳以上の人口が3割を超す当下町地域では、高齢者を様々な形で支えながら、地域の活性化に繋げようとワンコイン（500円）による演芸付き昼食会、名付けて「しもまちお互いさまランチ」を実施しております。



第11回「しもまちお互いさまランチ」は平成26年3月2日（日）新潟市立入舟小学校ふれあいホールにて開催。80名余の参加者の方々には、関田和子さんによる「大人のよみかせ朗読会」小説3話（太宰 治：作「黄金風景」・山村暮鳥：作「どうしてのんべいは其酒を止めたか」等）、続いて、地元の琴奏者、奥村京子さんによる琴演奏5曲（六段の調・千の風になって・おぼろ月夜 等）を鑑賞していただきました。そののち場所を移し、ランチルームでの昼食会では、当コミ協婦人部による、オリジナルなお汁等が振る舞われました。



振り返ってみますと、第1回お互いさまランチは、平成24年11月25日（日）に実施されました。以来ほぼ2カ月前後の間隔で実施され、今回11回目の開催を実施することが出来、また、これまで延べ人数960名余の方の参加をいただき大変ありがとうございました。今回参加できなかった方には、次回（26年5月を予定）には、一緒に如何でしょうか。お待ちしております。

